

## 令和3年度 第2回学校運営協議会議事録

今回は新型コロナウイルスの感染拡大による影響を勘案し、会議の開催を断念することになりました。代替措置として、各学年、分掌等の進捗状況を学校運営協議会委員の方々に送付し、それについてメールあるいはFAXでいただいた意見をまとめ、学校運営協議会委員の確認、了承を得たものを、「令和3年度 第2回運営協議会議事録」とさせていただきます。

[委員] 田中満公子 委員、今西邦夫 委員、井上博史 委員、坂部弘重 委員（ご欠席）、渡邊雅世 委員、西端律子 委員

（委員）様々な制限のなか、生徒の皆さん、先生方の努力が見える報告をいただきました。平素の皆さんの頑張りに敬服します。不登校の増加などに注意いただき、落ちこぼれに最大限努力をお願いします。ご活躍を祈っています。

（学校）生徒の状況については、欠席や遅刻の多い生徒や、ケアの必要な生徒など、各学年の担任会でその都度、情報共有されています。関係教員によるケース会議を開いて対応方針を確認するとともに、ご家庭と連携しつつ、必要に応じてスクールカウンセラーとの面談の設定を行っています。

---

### 1. 学校運営協議会資料（校長より）

（委員）3について、端末が生徒各人に配付されているいろいろな活用法が可能になり、欠席者に対するオンライン配信などがすでに実施されているということによかったと思います。ただ、最近の新聞報道でも話題になっているように、端末を悪用する例も多々あるようで、規制をかいくぐってユーチューブやゲームなどを楽しむ生徒もいるようです。そのようなことがメインにならないように目を光らせてください。

（学校）本校では端末の利用ルールは最低限のものにとどめております。あくまで、学習目的での貸与であることを生徒に伝え、自由に活用させています。どのような行動が生徒自身にとって悪影響であるか、自分自身で考え学んでもらおうと考えております。現状、我々の見えている範囲ではプレゼンテーション作成等に利用している生徒がほとんどだと思います。

### 2. 各学年より説明資料

（委員）対面での文化祭や体育祭が予定通り実施され、よかったと思います。

(学校) 緊急事態宣言が発出されている中で、実施そのものが危ぶまれましたが、文化祭については、宣言解除後に延期、体育祭についても台風の襲来により次の週に延期したものの、実施できて本当に良かったと思います。しかしながら、文化祭では飲食物を取扱う企画は禁止、体育祭では種目を変更するなど例年のプログラムを一部変更しての実施となりました。また、「密」を避けるためいずれも生徒のみの参加としたことで、保護者の皆様にお子様の様子を見ていただけなかったことについては、大変心苦しく残念に思っています。

### 3. SSH より説明資料

(委員) 今年度も順調に進み、成果も出ていることはたいへん喜ばしいことだと思います。受賞することは生徒さんたちの自信とこれからの励みになると思います。「次年度 SSH 申請に向けての構想」について、第3期の目標ならびに4つの検討項目は、第2期の総括（成果と反省）に基づいていると思います。第3期の目標を策定するに至った第2期の総括内容について簡単に教えていただきたく思います。

(学校) これまで探究活動を行っていなかった理科系クラブでも探究活動を行いたいという生徒の希望があがり、自発的に理科系クラブ同士の発表会も企画されるなど、積極的な生徒が現れるようになりました。また、科学オリンピック等への参加者は大幅に増加し、毎年全国大会にも出場するようになりました。また、卒業後の進路としては、NASA・FIT 海外研修に参加した生徒が海外研修で学んだ宇宙での植物栽培に興味を持ち、京都大学宇宙ユニットプロジェクトに参加したり、航空学に興味を持った生徒がオランダのデルフト工科大学に進学し海外の大学で航空学を学んだりするなど、SSHの活動が卒業後の進路決定にも大きな影響を与えていることがわかりました。

課題としては、探究活動では現在教員が1人で4~5人の班をおよそ3班受け持っており、50分の授業の中で各班に対して指導に割ける時間が少ないことが課題です。また、最終発表までに研究を深めることができなかった班が一定数存在し、これらを解決するためには、探究活動時間の確保とテーマ設定や実験方法の指導内容の充実に加えて、生徒が議論できる場の構築が必要であると考えています。また、SSH II期ではグループ内でのコミュニケーションを取る機会として、ポートフォリオを用いたフィードバックを行いました。これによって自身を見つめなおし、互いに意見し合う場を提供することはできましたが、相互評価の際に活発な意見が出ずに、フィードバックが進まない班がありました。これを解決するためには、班の中で信頼関係が培われ、躊躇なく自己開示が行われている状態、つまり、「関係の質」の高いチーム作りが必要だと考えています。

### 4. SGH より説明資料

(委員) 本年度もユニークなビジネスプランが並び、どのような形にまとまっていくのか楽しみです。米国リーハイ大学でのオンライン・グローバル授業も対面のときと同様、好評のようですので、予算のつく限り今後も継続していただけたらと思います。

(学校) いつもご支援いただきありがとうございます。毎年応募している高校生ビジネスプラン・グランプリ(日本政策金融公庫主催)で応募総数 3,100 件中、ベスト 20(セミファイナリスト)1 班、100 位入賞 1 班という成績となりました。コロナで身動きが取れない中、よく頑張ったと思います。他の班も現在様々なコンテストに応募しており、頑張ってもらいたいと思います。また、昨年よりフィリピン海外研修を予定している班は、SDGs の目標達成のためのアクションプランを作っています。ビジネスにこだわる必要はないが、資金調達や経費はしっかり考えるよう指示しております。今年は、1 班がビジネスプランではなく学生服のリユースに取り組んでおり、今後どのように展開していくか楽しみです。

#### 5. 進路指導部より進路状況に係る資料

(委員) 多種多様な交流会の実施は、進路の選択肢を広げたり、進路を明確化するのに役立つと思いますので、今後も続けていただきたいと思います。3 ページめの表はどのようなイベントなのでしょう？

(学校) お励ましをいただき、ありがとうございます。同じ学び舎で 3 年間で過ごした先輩たちの経験談やアドバイスは、在校生にとって強く響くものがあるようです。制約が多い中でも、工夫をしながら今後も継続して続けていきたいと考えております。表は講習一覧です。

#### 6. クラブ活動に係る資料

(委員) 近畿大会に出場されているクラブもあり、個々のクラブが強豪校にチャレンジする様子や文武両道を実践している生徒さんの活躍がよくわかりました。各部の更なる活躍を期待しています。

(学校) 緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用などで、活動にも制限が加えられている状況でも、気力を失わず、自分たちの目標に向けて頑張っています。更衣の際、会話を控えたり、部活動終了後の飲食の禁止など感染防止に対する意識をもって活動しています。

---

(委員) 以下、第 2 回学校運営協議会資料についてコメントさせていただきます。

##### (1) GIGA 端末について

- ・ 生徒の自宅での活用状況について、次回以降でよいので、ご教示ください。
- ・ 授業での活用は支援システムなどは活用されておられますか？
- ・ 何か課題はありますか？ルール違反、紛失、盗難など。

(学校) (1) 定量的なアンケートを実施したわけではないですが、各学年で学習の流れや段階が異なるため活用方法は様々です。調べ学習に利用する者、プレゼンテーションを作成する者、また教員によっては別解を Google Classroom で生徒と共有しており、復習等に活用しているようです。

(2) Chromebook を用いていますので、Google Workspace のアプリ群を活用しています。スライド、スプレッドシート、などは活用されていると聞いております。また、Google カレンダーで部活動の予定を共有しているケースもございます。

(3) まだ2か月ほどなので、特に課題は見えていない状況ですが、破損の連絡を3件ほど受けています。業者の対応は速やかですが、不慮の事故とは言え少し多いのでは、と個人的に感じています。

#### (委員) (2) SGH 報告について

- ・朝8時からということで、先生方も生徒の皆さんも大変だったことと思います。
- ・アンケート結果で、「よかった」(=とてもよかった、ではない) の理由はわかりますか？

(学校) 「とてもよかった」と「よかった」のちがいの理由はわかりません。朝早かったですが、生徒たちはがんばって参加していました。水曜日のみ、朝は講義、夜はニューヨークの国連本部でのバーチャルツアーとブリーフィングに参加しました。

---

#### (委員) ■質問

私の記憶が定かでないのですが、「令和3年度 第1回学校運営協議会議事録」はすでに各委員の承認していただいておりますでしょうか。

(学校) 書面開催のときのみ、議事録の承認をいただくことになっております。

#### (委員) ■感想・コメント

★★★個人的な想いで書いている個所がございますので、皆様に共有するかどうかは、校長先生のご判断にお任せします。

1) 「学校運営協議会資料(校長先生より)」や学年、SSH、SGH等の資料、拝読しました。「文武両道」をめざし「三丘スピリット」を育成するために、質の高い教育実践を全方位的に展開されていることに、心より敬意を表します。

とくにこの間、行事やSSH、SGHに関しては、コロナ禍で活動に制限がある中、教職員の皆さまが何度も何度も検討をかさねてやっと実現した取組みがあると推察します。規模を縮小しながらも最大限の可能性を探る取り組みの中から、今後のStandard(New Normal)が生まれる／生まれた可能性は大きかったのではないのでしょうか。

その可能性の延長線上には、SDGsがめざす2030年より先の未来社会が垣間見え、その未来社会への貢献につながる取組みを、SGHで大きな成果を残した、残している三国丘高校ならば、着手し始めるときではないのでしょうか。すでにリーハイ大学とのオンライン講座などで着手しておられるのではないかと

はと思いますが、一方で今回の資料を拝読してそのように感じました。もう一つ、大きな一歩を踏み出す時だと。SSH、SGHで次の次元に進まれましたが、さらに先の次元に進む準備をするときではないでしょうか？それが具体的に何なのかを検討するには、現在の大学や企業との連携の質を変えること、そのためには現在のプラットフォームの質を変えること、そのためには教職員も学び続けること、そのためにはまずコアなメンバーが集まること、が思い起こされました。

## 2) 授業研究：例えばテーマとして「教えすぎない授業とは」とか

上記1)にも関連しますが、今一度授業研究を教科や学年、学校で実施することが求められているように考えます。知識の習得も不十分なままALを実施したり、ICTを活用していただければいい授業をしたつもりになっていたりする若手教員は三国丘高校にはおられないでしょうか？

チョーク1本と黒板で勝負ができることがまずベースです。そのことも含めて例え短時間でも多くの教員を巻き込んだ授業研究をすることはできませんでしょうか。(すでに着手しておられたらすみません)

また、私が三国丘高校に所属していた時期の「学校教育自己診断」からは、生徒のニーズとして「受験に必要な学力」「高校生として必要な学力」のパーセンテージが同数でした(確か60~70の間だったと記憶しています)。多くの生徒が、(釈迦に説法ですが)学問の真理を学ぶことに興味関心をもっています。二つの学力のバランスはどうしたらとれるのか、取る必要はないのかなどなど、まずはコアなメンバーで議論しはじめてもいいのではないのでしょうか。

(学校) ご期待いただき誠にありがとうございます。ご指摘のとおりSSHやSGHの取組みは、全国の中でもハイレベルな活動になっていると思います。並行して取り組んできた課題研究「Creative Solutions」も年々発展を遂げており、すべての教科の担当者からなるCS委員会が組織され、研究活動に関わっているといった大きな特徴があります。また、来年度から導入される観点別評価に対応するため各教科が、3つの観点からこれまでの学習活動を振り返り、備えを進めているところです。1人1台端末も配備され、教育活動での活用が期待されています。新型コロナウイルスへの対応に追われた2年間でしたが、経験年数の短い先生方中心に、相互の授業見学など自主的な授業改善の取組みも積極的に行われていると聞いています。今後、こうした先生方の取組みや意欲を支援するためにはどのような計画、組織などが必要なのかを検討すべき時期に来ていると感じています。ご意見を参考にさせていただきたいと思います

## (委員) 3) 研究者との連携

上記1) 2) のために、研究者と協働(WIN-WINの関係で)されてはどうでしょうか。

(学校) ご提案ありがとうございます。現在SSHの第3期指定の申請を行っているところですが、今後5年間の活動の方向性を考える中で、確固とした理論に基づいて実践を行い、その検証を行っていくためには学識の方々との連携が不可欠であると考えています。本校として必要な連携の案を固めたうえで改めてご相談させていただけたらと思います。よろしく申し上げます。

---

## 1. 校長先生よりのご連絡に関しまして

(委員) 体育祭、そして緊急事態宣言の解除による部活動の再開と、生徒にとって大切な行事がまた開催できるようになったこと、非常に嬉しく思います。やはりクラブ活動に参加できるだけで、生徒たちの顔が少し明るくなったような気がします。修学旅行、校外学習に関しましても無事開催できたこと、本当に良かったと思います。制限のある中ですが、これからもできる限り予定していた行事は行っていただきたいと思っております。

(学校) 行事や部活動の実施等については、他の学習活動と同様に感染防止対策が大切です。生徒、保護者の皆さんの感染防止に対する意識が高く、また学校の活動へのご理解、ご協力いただいているおかげさまを持ちまして、何とか生徒の活動の場を維持できていると考えています。本当にありがとうございます。生徒たちも制限のある中ですが、代替案等も工夫しながらできる限り実施していきたいと考えています。今後ともよろしく願いいたします。

### (委員) 1人1台の端末配備について

オンライン環境が一步前進したと実感いたしました。あとは先生方のご負担が少し心配ですが、来たる第6波や、コロナ以外の自然災害、緊急事態に備えて、教職員の方々、そして生徒たちがこの設備を無駄にしないよう学習に存分に生かしていただきたいと思っております。

(学校) 学校生活の中で利用すると生徒・教員ともに便利になる事象はたくさん見つかっております。「オンライン化可能な事象」また、「オンライン化すべき事象」はどんどん進めて参ります。そのうえで、「オンライン化すべきでない事象」もまた見えてくるものと考えております。

## 2. 各学年よりの説明資料

(委員) それぞれの学年で今すべきこと、学習面や目標などについて、先生方の熱意の伝わる学年通信を読ませていただきました。3年生はいよいよ受験モードになってきており、ピリピリとした雰囲気も感じますが、今後ともご指導よろしく願いいたします。

(学校) 学年通信は、各学年のカラーが出ていて私も毎回楽しみにしています。保護者の皆さまには、行事等にご参加いただけない中、少しでも学校の様子を知っていただくためにお役立てていただければ幸いです。また、教員の思いが伝わり、生徒の皆さんの力になっていることを願っています。

### 3. 4. SSH/SGH よりの説明資料

(委員) ずっと変わらず素晴らしい活動、そしてしっかりと実績も残していたださっていると思います。ひとえに先生方のご指導の素晴らしさと、三丘生の努力の賜物であると思います。こちらも引き続き、どうぞよろしく願いいたします。

(学校) 令和元年度から課題研究の発表会が1, 2年生徒全員の参加で開催されるようになりました。SSH、SGHの研究の成果も全員が共有することができています。素晴らしい成果を上げた先輩の姿を見た後輩たちが、来年は自分たちがという基準値の高い意欲をもって積極的に課題研究に取り組んでいます。また、職員会後の時間を利用して、探究活動の教員研修を行い、指導方法のより一層の充実に努めています。

### 6. クラブ活動について

(委員) このコロナ禍において、限られた練習や活動の中、本当によく頑張っていると感じています。先生方のご指導のおかげです。ありがとうございます。

(学校) 緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用などで、活動にも制限が加えられている状況でも、気力を失わず、自分たちの目標に向けて頑張っています。更衣の際、会話を控えたり、部活動終了後の飲食の禁止など感染防止に対する意識をもって活動しています。